

公立東濃中部医療センター

トリアージ実施体制について

当院では、夜間・休日・深夜に救急外来を受診される患者さんに対し、症状の緊急度および重症度を迅速に判断し、適切な診療の優先順位を決定するため、「院内トリアージ」を実施しております。

院内トリアージは、患者さんの安全確保および重症患者への迅速な対応を目的として行うものであり、診察の順番が受付順と異なる場合があります。ご理解とご協力をお願いいたします。

院内トリアージ実施基準（JTAS 参考）

【対象患者】

夜間・休日・深夜に救急外来を受診された初診患者を対象として実施します。

【実施者】

院内トリアージは、以下のいずれかに該当する専任職員が実施します。

- 医師
- 救急医療に3年以上従事した経験を有する専任看護師であり、所定の救急医療研修を修了した者

【実施方法】

来院後、原則10分以内に患者さんの状態を評価し、主訴・症状・バイタルサイン・意識状態等を総合的に確認したうえで、JTAS（Japan Triage and Acuity Scale）を参考に緊急度を判定します。

評価項目は以下のとおりです。

- 意識状態
- 呼吸状態
- 循環状態
- 体温
- SpO₂
- 主訴
- 疼痛の程度

院内トリアージ実施体制加算について

当院では、令和8年度診療報酬改定における「院内トリアージ実施体制加算」の施設基準を満たし、適切な救急医療体制の整備および安全な医療提供に努めています。

なお、診療の緊急度に応じて診察の順番が前後する場合がありますので、あらかじめご了承ください。